

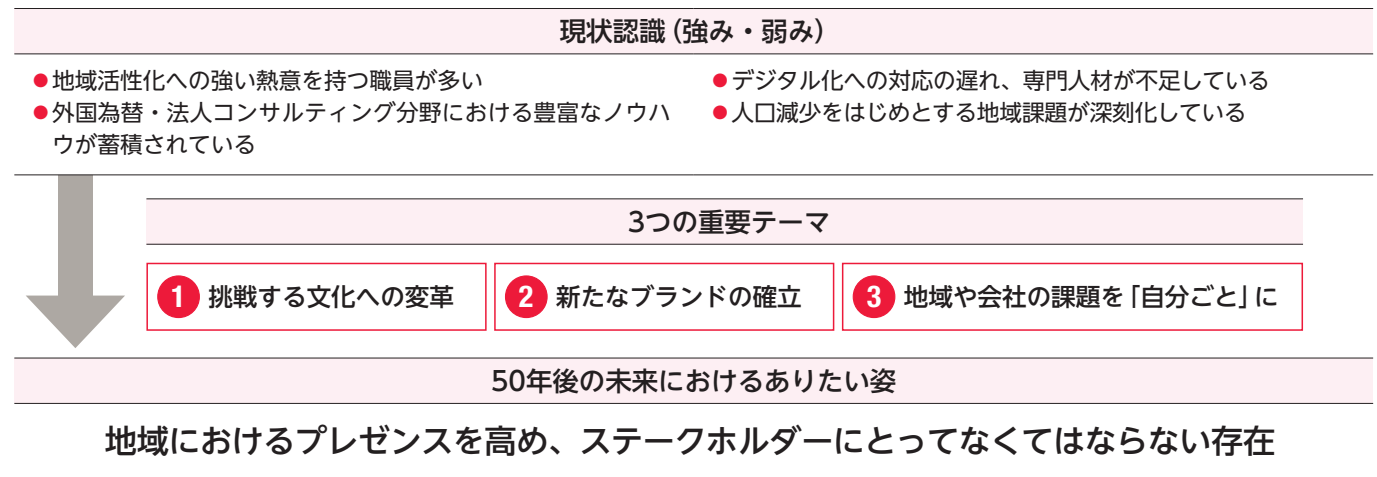
150周年記念事業プロジェクトで未来志向をカタチに

創業150周年に向けてー多様な考えで「未来」を描くー

当行グループは2028年11月1日、創業150周年を迎えます。この大きな節目に向け、2024年9月に「創業150周年記念事業プロジェクト」を立ち上げました。

20代から40代の多様な職員で構成される本プロジェクトでは、「未来志向」をキーワードに、地域と当行グループの未来についてワークショップ形式で議論を重ね、150周年に向けて取り組むべき重要テーマを設定しました。この重要テーマを軸に、未来へ向けた記念事業を企画・推進しております。

創業150周年記念事業プロジェクトによる「50年後におけるありたい姿」と3つの重要テーマ



メインテーマ・ロゴマークの制定

全役職員からの公募・投票を経て、メインテーマ「だから、挑む。ーありがとうを、たしかなカタチにー」を制定しました。また、メインテーマを象徴するロゴマークをプロジェクトチームで制作し、全役職員による投票を経て決定しました。

150周年記念事業 メインテーマ	ロゴマーク
だから、挑む。 ーありがとうを、たしかなカタチにー 【メインテーマに込めた想い】 目的や理由は異なっても、皆が“誰か”のためにチャレンジし、そして挑戦する人の想いを全力で応援できる企業でありたい。150年の感謝を未来へつなげ、その想いを“カタチ”にするために、私たちは挑み続けます。	 奥行きの中で上昇する矢印の上に「走る人」を配置することで、節目である150周年を超えて、その先の未来に向かって力強く「挑む」姿勢を表しました。

未来に向けた記念事業をスタートー2025年度の実践ー

地方銀行主催は全国で初めて！「Out of KidZania in かがわ」開催



42の地元企業・団体のご協力を得て、こどもたちが職業・社会体験できる「Out of KidZania in かがわ」を開催しました。地方銀行による本イベントの主催は全国初の取り組みであり、次世代を担うこどもたちへの職業体験を通じて、地域経済への理解促進と地元への定着促進に貢献しました。

地元高校書道部によるメインテーマ「だから、挑む。」書道パフォーマンス



150周年に向けた新たな挑戦への決意をカタチにすることを目的に、香川県立高松商業高等学校書道部「高商ガールズ」の皆さまと協働で、書道パフォーマンスを実施しました。躍動感あふれる筆さばきで表現されたその作品には、未来へ向かって挑み続ける私たちの想いが力強く刻まれています。

Special Interview

150年の先へ、想いをつなぐ

大きな節目である創業150周年を記念したプロジェクト。若手職員3人が地域の未来を見据えた活動に取り組む中で感じたこと、気づいたこと、そして150周年への想いを語ってもらいました。



活動を通じて、意識や視野に変化はありましたか？

玉井 年齢や立場に関係なく意見を発信できる環境の中で、自分の考えが銀行の活動に反映され地域に影響を与えていることを実感しました。銀行の取り組みをより「自分ごと」として捉え、主体的に関わっていかうという意識が一層強くなりました。

PJには、20～40代のメンバーが参加しています。世代を超えた議論で気づいたことはありますか？

櫻村 先輩方との議論では、長年の経験に基づく地域やお客さまへの深い理解に「なるほど」と感じる場面が多くありました。一方、SNSを活用した情報発信などデジタルに親しんだ自分たちの世代ならではの視点も活きていると気づきました。世代を超えた対話が、より良い施策の立案・実行につながったと実感しています。

「50年後のありたい姿」の議論で印象に残った場面は？

森 最も印象に残っているのは、先輩からの「問い」です。答えを示すのではなく

問いとして投げかけられたことで、自分たちで深く考えるきっかけとなり、議論を深める原動力になりました。

玉井 50年後を議論したことで視野が大きく広がりました。目の前の課題だけでなく、次の世代にどのような地域を引き継いでいくかという視点で意見を交わせたことが特に印象に残っています。

「Out of KidZania in かがわ」の運営や書道パフォーマンスを経験して感じたことは？

櫻村 地元の様々な仕事を体験する子どもたちの生き生きとした表情がとても印象的でした。書道パフォーマンスでは地元高校生が全力で150周年のテーマを書き上げる姿に心を動かされ、地域の若い力とともにこの記念すべき瞬間を作り上げられたことを大変嬉しく思いました。

森 特に印象に残っているのは、関わるすべての人が「自分ごと」

として本気で挑んでいたことです。高商ガールズの皆さんの圧倒的な熱量と「本気」の姿は、私たちが常にめざすべき姿だと感じました。

150周年を迎える2028年、どんな自分・銀行になりたいですか？

櫻村 「あなたに相談して良かった」と信頼していただける行員になりたいです。挑戦する文化を根付かせ、地域に寄り添い続ける銀行として選ばれる存在でありたいと思います。

玉井 挑戦する姿勢を大切に、地域やお客さまの一番のパートナーとして貢献できる行員をめざします。地域の挑戦を応援し、誰からも選ばれる銀行であり続けたいです。

森 日常業務でも「自分ごと」として真剣に、本気で向き合える自分でありたいです。そして、周年事業への熱意が特別な日だけでなく、日々の仕事の中に根付いている銀行になりたいです。